

食用ナバナを観光に

帝京短大生20人がテストツアー

南房総

南房総産の食用ナバナを新たな観光資源にしようとして、帝京短期大学生活科学科の1年生20人が18

日、南房総市本織にある加藤菜園を訪れ、ナバナ摘みやパック詰めを体験した。

1〜2月が旬のナバナを新たな観光資源とし、

ナバナ摘みやパック詰めなどの体験型バスツアーにつなげようという企画。

同菜園の加藤積さんと同短大で講師を務める桜井正さんの縁で、今回はテストツアーとして学生が体験した。

同菜園の畑を訪れた学生は、大きな籠を背負って畑に入り、たくさんのナバナを摘み取り。

その後、同菜園作業所でパック詰めをしたり、揚げたての天ぷらを味

わったりして房総ナバナの魅力堪能した。



ナバナ摘みを体験する学生ら＝南房総

「ナバナは栄養価が高く、免疫力の向上、老化防止、美肌効果があるが、まだまだ知られていない」と加藤さん。「今後は体験型のバスツアーなどに組み込んでもらい、ナバナの魅力アップにつなげてもらえれば」と期

待を寄せた。